

実地研修会「明石海峡大橋～世界最長吊り橋の維持管理～」を開催

実地研修会「明石海峡大橋」が令和元年6月20日（木）～21日（金）の日程で、全国から66名の参加を得て兵庫県神戸市で開催されました。

初日は、現地視察の理解を深めるとともに、視察のポイントなどの情報を事前に学習するため、本州四国連絡高速道路株式会社経営計画部長の北口雅章氏を講師に迎え、「本州四国連絡橋の技術と役割」と題して聴講会を行いました。講習後には、受講者や本州四国連絡高速道路株式会社の講師など総勢27名が参加し、交流会が行われました。交流会は、意見交換が尽きずに2時間近くも行われる盛況なものでした。

2日目の現地視察は、最初に明石海峡大橋神戸側橋脚の脇にある「橋の科学館」にて、本州四国連絡橋の建設に使われた架橋技術を模型や映像で学習しました。

その後、明石海峡大橋を渡って淡路側4Aアンカレッジから3P主塔まで管理用通路を960m歩きながら、維持管理技術などについて説明を受けました。そして、管理用エレベーターで高さ約300mの主塔頂まで登りました。

昨年は、7月の西日本豪雨の影響で途中解散となってしまいましたが、今年度は無事開催することができました。開催に際し、ご協力いただきました本州四国連絡高速道路株式会社の皆様には心から感謝申し上げます。



北口講師の講義を聴講する参加者 管理用通路で説明を受ける参加者

第62回定時社員総会が開催される

令和元年6月25日（火）、本会の第62回定時社員総会が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において開催されました。

第62回定時社員総会は午後1時から、出席正会員111名、委任状45,029名、議決権合計45,140名（総会成立定足数29,972名）のもとに開催され、はじめに大石久和会長の挨拶があり、続いてご来賓の増田博行氏（国土交通省大臣官房技術総括審議官）、

五道仁実氏（国土交通省大臣官房技術審議官）、吉塚靖浩氏（農林水産省水産庁漁港漁場整備部長）からご祝辞をいただきました。

続いて、本会の大会長を議長に選出して下記議題の審議に入り、第1号議案、第2号議案は原案のとおり承認されました。

なお、第2号議案「役員選任の件」については、大石議長から選任方法について会員に諮ったところ「本部一任」となり、提出された本部案が承認されたものです。

第1号議案 平成30年度決算の承認の件

関連事業報告

- ①平成30年度事業報告の報告の件
- ②公益的目的支出計画実施報告の報告の件
- ③令和元年度事業計画および予算の報告の件

第2号議案 役員選任の件

議題の審議終了後、寺本邦一副会長の閉会の挨拶をもって、第62回定時社員総会はつつがなく終了しました。

なお、承認された新役員は以下のとおりです。

○新役員

役職	氏名	備考
会 長	大石 久和	元国土交通省技監
副会長	寺本 邦一	元国土交通省大臣官房技術調査官
〃	小川 富由	元国土技術総合政策研究所副所長
〃	小原 恒平	元国土交通省九州地方整備局長
〃	三浦 隆	東京都建設局長
理 事	西植 博	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	松本 直也	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	藤井 元生	元国土交通省九州地方整備局副局長
〃	宇賀神 義宣	元農林水産省水産庁漁港漁場整備部長
〃	天沼 宇雄	北海道建設部技監
〃	和田 眞	福島県土木部次長（道路担当）
〃	御園 直樹	公益財団法人千葉県建設技術センター専務理事
〃	猿田 佳三	一般財団法人 水戸市公園協会理事長
〃	梅澤 賢一	甲府市上下水道局工務部長
〃	江幡 光博	富山県土木部次長
〃	長縄 知行	静岡県交通基盤部理事（土木技術担当）
〃	服部 洋平	兵庫県県土整備部土木局長
〃	阿部 雅昭	山口県土木建築部次長
〃	片山 秀樹	香川県土木部長
〃	王丸 義明	佐賀県佐賀土木事務所長
〃	山口 直宏	中日本高速道路(株)技術・建設本部建設企画部 高速道路計画担当部長
専務理事	泊 宏	元国土交通省関東地方整備局長
常務理事	西成 秀幸	元埼玉県県土整備部長
監 事	染矢 康弘	元国土交通省港湾局建設課港湾事業監理官
〃	青木 秀幸	東京都下水道局建設部長

理事23名、監事 2名 下線部は新任役員



主催者挨拶を行う大石会長

総会の様子

谷口賞等の個人表彰や平成30年度全建賞の表彰が行われる

表彰式は、総会に先立ち令和元年6月25日（火）午前10時に開式され、谷口賞・谷口功労賞・小沢賞の各受賞者と、全建功労賞及び長期会員表彰の代表受賞者合わせて68名、新協会設立功労表彰1協会、さらに全建賞の実施機関93名と賛助会員の代表者53名が出席し実施されました。

最初に大石会長の挨拶があり、続いてご来賓の本協会顧問の参議院議員 佐藤信秋氏、石田東生全建賞審査委員長（日本大学特任教授、筑波大学名誉教授・特命教授）からご祝辞をいただきました。

表彰は、谷口賞、谷口功労賞、小沢賞、全建功労賞、長期会員、新協会設立功労、全建賞の順で行われ、大石会長から賞状が授与されました。

授賞終了後、全受賞者を代表して谷口賞受賞者の石田東生氏からの謝辞があり、表彰式は終了しました。

表彰の詳細については、月刊「建設」8月号をご覧ください。



大石会長から石田氏へ谷口賞の授与 全受賞者代表の石田氏からの謝辞

実地研修会「平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設～災害復旧に向けた取り組み・ダム建設事業とその機能と役割～」を開催

実地研修会「実地研修会 平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設」が令和元年7月11日（木）～12日（金）の日程で、全国から59名の参加を得て熊本県熊本市で開催されました。

初日は、翌日の現地視察の事前学習として、国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所 所長の阿部成二氏と同熊本復興事務所 所長 大榎謙氏の講演を行いました。

2日目の現地視察は梅雨の晴れ間の中、「立野ダム建設事業」、「阿蘇大橋架替工事・阿蘇大橋地区斜



立野ダム工事事務所 阿部所長の講演 阿蘇大橋架替工事の視察の様子

面防災対策工事」の各現地を視察しました。

なお、ここでも初日の講習後に、受講者や講師など総勢30名が参加し、交流会が行われました。

令和元年度全国事務局長会議を開催

令和元年7月18日（木）～19日（金）の日程で、54回目の開催となる「令和元年度全国事務局長会議」が茨城県つくば市のつくば国際会議場で開催されました。全国から事務局長69名、事務局担当者等34名の計103名が参加されました。

会議一日目は、本協会の寺本副会長の開会あいさつではじまり、討議では、まず、全建本部より「全建活動の拡充について」の説明を行いました。その後、6つの地方協会の皆様から会員加入の促進活動など「地方協会の取組み事例報告」をしていただき、質疑の後、泊専務理事から「公務員技術者の使命と全建活動の今後の展開」についてお話しさせていただきました。

休憩をはさみ下記の2講演が行われました。

① 「最近の国土交通行政の動向」

国土交通省大臣官房技術調査官 長尾純二 氏

② 「危機に立つ日本」

－全日本建設技術協会が行うべきこと－
本協会 大石久和 会長

講演会終了後には会場を変えて、意見交換会が89名の皆様の参加を得て開催されました。意見交換会では、大石会長の開会あいさつに続いて、事務局長会議の開催にご協力いただいた地元の茨城県土木部長 伊藤高様からご挨拶を頂戴しました。ご来賓の国土交通省関係の皆様方、地元茨城県建設技術協会の皆様方、本部協会の理事を紹介した後、国土交通省大臣官房技術調査官 長尾純二様のご発声で乾杯となりました。意見交換会では、会員同士の交流が活発に行われ、それぞれの地方協会の実情などについて情報交換されました。

意見交換会も盛況のなかで、国立研究開発法人土木研究所理事長 西川和廣様の中締めで一区切りとなりました。

会議二日目は73名の皆様が参加し、下記の箇所の現場研修を行いました。

①平成27年9月関東・東北豪雨の災害復旧（鬼怒川緊急対策プロジェクト）

②建設に関する研究・実験施設（土木研究所・国土技術政策総合研究所）

③都市公園の運営等について（偕楽園）

現場研修にご協力いただきました国土交通省関東

地方整備局下館河川事務所、土木研究所、国土技術政策総合研究所、茨城県の皆様には、厚くお礼を申し上げます。



大石会長の講演

構造物メンテナンス研究センターの視察の様子

**「令和2年 2020年全建手帳」を改定し、
8月下旬発刊予定！**

「令和2年 2020年全建手帳」を発行します。やわらかな作りで手に馴染みやすく、使い易いと好評をいただいています。2020年版は、建設技術者にとって必要な「インフラ情報を満載！」建設技術関係の月間や記念日、高速道路等の開通日、大きな災害の発生日、イベント予定日などの掲載をさらに充実させました。

主な特徴は、次のようなものです。

- ・ A 6 版サイズで、記入スペースが広く使いやすい大きさです。
- ・ 便利なペン差し付き大型ポケットを備えています。
- ・ 資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。

・ カレンダーの収録期間が2019年11月1日から2021年3月31日までと長く、新しい手帳の移行に便利です。

・ 定価700円（税込）

【問い合わせ先】

企画課 露木 竹村

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com

**令和元年度公共工事品質確保技術者資格
登録更新講習の申請を締め切りました**

令和元年度公共工事品質確保技術者資格登録更新講習（Ⅰ、Ⅱ共通）の受付は、令和元年7月31日（水）で締め切りました。

受講される皆様には、下記の会場と日程で行われる講習実施日の約1ヶ月前までには講習受講票をお届けします。

講習会実施都市と日程

札幌市 令和元年10月4日(金)	仙台市 令和元年10月18日(金)	東京都 令和元年9月10日(火)
新潟市 令和元年10月25日(金)	名古屋市 令和元年10月11日(金)	大阪市 令和元年11月8日(金)
広島市 令和元年10月18日(金)	高松市 令和元年11月1日(金)	福岡市 令和元年11月8日(金)
浦添市 令和元年10月25日(金)		

【問い合わせ先】

事業課 下野 高野 古川

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：hinkaku@zenken.com

